

データベース部便り

(財)高度情報科学技術研究機構
データベース部長
佐藤 治

1. はじめに

当財団データベース部は、原子力百科事典ATOMICA等の制作、コードセンターの運営、その他広報事業に携わっている。このうちコードセンターの運営については、次項に活動内容を詳しく紹介しているので、ここではATOMICA等の制作とその他広報事業に関して最近の活動状況をまとめる。

2. 原子力百科事典ATOMICA等の制作

当財団は、永年にわたり、原子力図書館「げんしろ」の制作に従事してきた。「げんしろ」は、原子力百科事典ATOMICA、キッズデータベース、げんしろクイズ等で構成され、インターネットを通じて幅広い原子力関連情報を提供することを目的とした公開ウェブサイトである。

平成18年度までは(独)科学技術振興機構(JST)殿が、また、平成19年度以降は(財)日本原子力文化振興財団(JAERO)殿がその運営にあっているが、平成19年12月に、JAERO殿の原子力・エネルギーに関する教育支援サイト「ニュークパル」と統合し、あらたに設立された原子力・エネルギー教育支援情報サイト「あとみん」の中にげんしろの

各コンテンツが組み込まれた。

平成19年度末時点でATOMICAには2773件のデータと、約3000件の用語(同義語を別の語としてカウント)が登録されているが、作成年月が古く現状に即していないデータが増えてきたため、平成20年4月以来、サイトを一時閉鎖して、データ及び用語の点検作業を進めている。点検作業は概ね終了しており、今後この結果を踏まえて、古いデータの更新作業を行う予定である。

3. その他広報事業

恒例の「科学の祭典・東海村子ども科学広場」(今年は第7回)が8月20日(水)に東海村中央公民館で開催された。当財団からはJAERO殿と共同で「あとみん」の「げんしろクイズにチャレンジ」を出展した。この出典には計432名の児童に参加して頂き、常時多くの児童に順番待ちをして頂く状態であった。今回の出展内容は、パソコンを使用したげんしろクイズとカルタゲームの2種類としたが、参加者の割合はおおよそ3:7であった。なお、参加した児童にはおみやげ(ノート)とRIST制作の認定証を進呈した。